



生徒の実態

高等学校2年生のCさんは、忘れ物やなくし物が多く、課題等の提出物も遅れがちである。整理整頓が苦手でロッカーの中には教科書やノート、プリント、体育着等が無造作に詰め込まれている。

口頭での指示は聞きもらすことが多いため、次の日の予定を黒板に書いて示したり、連絡事項を書いてメモを渡したりするなどの支援を個別に行っているが、黒板を見なかったり、メモをなくしたりすることがある。

自宅では保護者が物の管理や整理整頓を支援してきたが、高校入学後は自立させたいと思い、本人に任せていた。その結果、Cさんの部屋は散らかり放題になり、友達に借りた物が見つからず、トラブルになったこともあった。

休み時間や放課後には、仲の良い友達と3人でアニメやアイドルの話をよくしており、スマートフォンの待ち受けを好きなアイドルの画像にしたり、おそろいの手帳にアニメのキャラクターのステッカーを貼ったりし、3人で常に持ち歩いている。ただ、スケジュールの管理が苦手なため、約束を度々忘れてしまい友達を怒らせてしまう。このままでは友人関係が壊れてしまうのではないかと不安に思っている。

収集した情報を自立活動の区分に即して整理

健康の保持	心理的な安定	人間関係の形成	環境の把握	身体の動き	コミュニケーション
・整理整頓が苦手で、整理整頓の習慣が身に付きにくい。	・友人関係が壊れてしまうのではないかと不安を感じるようになっている。	・約束を忘れてしまい、友達を怒らせることがある。	・忘れ物やなくし物が多く、提出物も遅れがちである。 ・指示の聞き漏らしが多い。 ・スケジュール管理ができない。		・仲の良い友達と会話することができる。

年間指導目標

- 整理整頓の必要性を理解し、自分に合った方法で整理整頓を行うことができる。
- スケジュールや物を管理する方法を考え、実践することができる。

必要な項目の選定・指導内容の決定

	1 健康の保持	2 心理的な安定	3 人間関係の形成	4 環境の把握	5 身体の動き	6 コミュニケーション
(1)	生活のリズムや生活習慣の形成に関すること	情緒の安定に関すること	他者とのかかわりの基礎に関すること	保有する感覚の活用に関すること	姿勢と運動・動作の基本的技能に関すること	コミュニケーションの基礎的能力に関すること
(2)	病気の状態の理解と生活管理に関すること	状況の理解と変化への対応に関すること	他者の意図や感情の理解に関すること	感覚や認知の特性についての理解と対応に関すること	姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用に関すること	言語の受容と表出に関すること
(3)	身体各部の状態の理解と養護に関すること	障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服する意欲に関すること	自己の理解と行動の調整に関すること	感覚の保持及び代行手段の活用に関すること	日常生活に必要な基本動作に関すること	言語の形成と活用に関すること
(4)	障害の特性の理解と生活環境の調整に関すること		集団への参加の基礎に関すること	感覚を総合的に活用した周囲の状況についての把握と状況に応じた行動に関すること	身体の移動能力に関すること	コミュニケーションの手段の選択と活用に関すること
(5)	健康状態の維持・改善に関すること			認知の行動の手がかりとなる概念の形成に関すること	作業に必要な動作と円滑な遂行に関すること	状況に応じたコミュニケーションに関すること

具体的な指導内容	いくつかの整理整頓の方法から、自分に合った方法を選び実践する。	忘れ物をしないようにするための方法を考え、決めた方法を実践する。	スケジュールを管理し、予定どおり実行する方法を身に付ける。
----------	---------------------------------	----------------------------------	-------------------------------

学級における配慮

- ・提出物などの大切な物は、決まった場所に入れるよう声掛けをする。
- ・板書された連絡事項は写真に撮ってよいことにする。

学習内容① 「自分に合った整理整頓の仕方を身に付ける学習」

▶指導に当たって

- ・これまでの物の管理の状況をチェックし、整理整頓の必要性に気付かせる。
- ・整理整頓の仕方を教師とともに考え、自分に合った方法で実行できるようにする。

▶本時のねらい

- ・整理整頓の必要性を理解し、教師とともに自分に合った整理整頓の方法を考える。(健・心)

指導過程

段階	学習内容	指導上の留意点																					
導入	1.物を忘れてたりなくしたりして困ったことがあるか振り返る。 2.本時の目標を確認する。	・生徒がどんなことに困っているのかを聞き取り、それを基に本時の課題へとつなげる。																					
展開	<p>3.今までの整理整頓の仕方について振り返る。</p> <p style="text-align: center;">整理整頓チェック表</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>ある</th> <th>ない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>物を探すのに時間がかかる</td> <td style="text-align: center;">✓</td> <td></td> </tr> <tr> <td>同じ物をいくつも持っている</td> <td style="text-align: center;">✓</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ロッカーの中が散らかっている</td> <td style="text-align: center;">✓</td> <td></td> </tr> <tr> <td>机の中が散らかっている</td> <td></td> <td style="text-align: center;">✓</td> </tr> <tr> <td>物を捨てることができない</td> <td style="text-align: center;">✓</td> <td></td> </tr> <tr> <td>散らかっていて集中できない</td> <td></td> <td style="text-align: center;">✓</td> </tr> </tbody> </table> <p>4.ロッカーの整理整頓の仕方を考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書とノートは教科ごとにセットにし、ブックスタンドを使って立てておく。 ・プリントは分類し、ラベルを貼った透明なケースに入れる。 ・ジャージは、袋の中に入れる。 </div> <p>5.整理整頓をする時間を決める。</p> <div style="border: 1px solid blue; border-radius: 15px; padding: 5px; margin: 5px 0; background-color: #e6f2ff;"> <p>T 「整理整頓を続けるために、ロッカーをきれいに する日を決めておきましょう。」 S 「週末に確認するといいかもかもしれません。」</p> </div>		ある	ない	物を探すのに時間がかかる	✓		同じ物をいくつも持っている	✓		ロッカーの中が散らかっている	✓		机の中が散らかっている		✓	物を捨てることができない	✓		散らかっていて集中できない		✓	<div style="border: 1px solid blue; border-radius: 15px; padding: 10px; background-color: #e6f2ff; margin-bottom: 10px;"> <p>T 「チェックシートを使って、今までの物の管理の仕方について振り返ってみましょう。」 S 「机はあまり物を入れないからきれいだけど、ロッカーの中が散らかっているわ。」 S 「物がどこにあるか分からなくて、探すのに時間がかかることもあります。」 T 「自分の物を多く入れているのはどこですか。」 S 「ロッカーです。教科書やプリントもすべてそのまま入れっぱなしです。」 T 「では、ロッカーを整理する方法を覚えれば、学校で物を探す時間や物をなくすことも減りそうですね。」</p> </div> <div style="border: 1px solid blue; border-radius: 15px; padding: 10px; background-color: #e6f2ff; margin-bottom: 10px;"> <p>T 「教科書やプリントなどをどのようにして しまうか一緒に考えましょう。」 S 「教科書は積んでしまうことが多いです。」 T 「タイトルが分かる向きにして立てておくと、すぐに取り出せますよ。実際にやってみましょう。」</p> </div> <p>・ブックスタンドを教師が用意し、ノートや教科書を実際に立てさせながら、自分が取り組みやすい方法を確認させていく。</p> <p>・学校でよく使う物の整理整頓の方法を生徒と一緒に考える。使わない物については、家に持って帰るか、捨てるか一緒に決める。</p> <p>・いつ整理整頓をするか生徒に決めさせる。整理整頓ができているか声掛けをしたり、確認をしたりする。</p>
	ある	ない																					
物を探すのに時間がかかる	✓																						
同じ物をいくつも持っている	✓																						
ロッカーの中が散らかっている	✓																						
机の中が散らかっている		✓																					
物を捨てることができない	✓																						
散らかっていて集中できない		✓																					
終末	6.本時の学習を振り返り、自己評価をする。	<p>・置き場所を決めたら写真を撮り、ロッカーの内側に貼っておくことで、どこに何を置くのか写真で確認しながらそのとおりに置くことができるようにする。</p> <p>・次時の活動で、実際にロッカーを整理整頓することを伝える。</p>																					

学習内容② 「忘れ物を減らす学習」

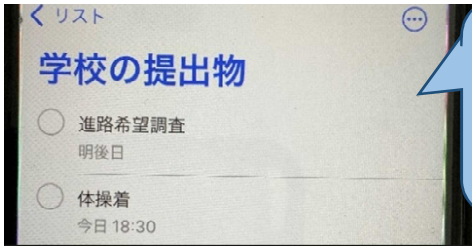
▶指導に当たって

- ・ 友達との話に夢中になる等、他のことに意識が向いてしまうと提出物や準備物等は忘れてしまうといった注意力の弱さが見られるので、忘れ物を減らす方法を教師がいくつか提案し、取り組みやすいものを選択させる。
- ・ 生徒が選択した方法（スマートフォンのボイスメモやリマインダー機能）を教師と一緒に使い、使い方を理解させる。一定期間試行した後、フィードバックさせ、より生徒が取り組みやすいように改善していく。

▶本時のねらい

- ・ 提案された、いくつかの忘れ物を減らす方法の中から取り組みやすいものを選択し、試行する。（健・環）

指導過程

段階	学習内容	指導上の留意点
導入	<p>1. 前時までの復習をする。</p> <p>2. 学校生活を振り返り、本時の目標を確認する。</p>	<p>・ 前時に学習した整理整頓について、その後の生徒の取組をロッカーの様子を実物や写真と一緒に確認する。</p>
	<p>T 「最近、何か忘れ物をしてしまったり、予定を間違えてしまったりしたことはありましたか。」</p> <p>S 「昨日まで締め切りだった進路希望調査の用紙を忘れてしまいました。他にもあったかも・・・。」</p> <p>T 「何か忘れ物をしないように気を付けていることはありますか。」</p> <p>S 「前は忘れないようにメモ帳に書いていたけど、見るのを忘れちゃうことが多かったし、メモ帳自体をなくしてしまったので、今は特にないです。」</p> <p>T 「そうでしたか。それでは今日は忘れ物を減らす方法について学習しましょう。」</p>	
展開	<p>3. 忘れ物を減らす方法を確認し、その中から取り組みやすいものを選択する。</p>	
	<p>○スマートフォンのボイスメモやリマインダー機能（予定通知機能）等を活用する。</p> <p>○手帳に記入し、決まった時間に必ず確認する。</p> <p>○ホワイトボードを置き、メモをした付箋を貼る。</p> <p>○大切な物は決まった所に入れる。</p> <p>○友達や家族に必要な物を伝え、忘れそうなどきは声を掛けてもらう。</p>	<p>T 「忘れ物を減らすにはこういうやり方があります。」（順番に紹介する）</p> <p>S 「忘れ物を減らす工夫は様々あるんですね。」</p> <p>T 「Cさんが取り組めそうな方法は何ですか。」</p> <p>S 「スマートフォンはなくなったことがないので、良い方法だと思います。」</p> <p>T 「それでは、スマートフォンを使って学習しましょう。」</p>
	<p>4. 選択した方法（スマートフォンのボイスメモやリマインダー機能）を体験する。</p>	<p>・ 教師が手本を見せたり、写真を用いた手順表を用いたりして使い方を伝える。</p>
		<p>T 「二つを試してみて、どうでしたか。」</p> <p>S 「リマインダー機能は時間を設定すると音で教えてくれるので便利だと思いました。操作もあまり難しくなかったです。」</p> <p>T 「スマートフォンを使った他のやり方を知っていますか。」</p> <p>S 「確か・・・友達はカレンダーアプリを使っていたと思います。」</p> <p>T 「次回の学習でそのやり方もやってみましょう。」</p>
	<p>5. プリント等の提出物を管理する方法を確認する。</p> <p>(1) クリアファイルを用意する。</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 目に付きやすい色(赤) □ お気に入りの絵が付いているもの <p>(2) 使い方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大事な提出物は必ずそのファイルに入れる。 ・ 帰宅後、同じ時間に鞆から出して確認する。 □ 帰宅直後 □ 夕食前 □ 夕食後 	<p>T 「提出するプリントは、ファイルを決めて、それに入れるようにしましょう。ファイルは何にしますか。」</p> <p>S 「鞆に入っているものすぐに見付けられるようにしたいので赤色のファイルにします。」</p> <p>T 「それはいいですね。ファイルは毎日決まった時間に確認するといいですよ。」</p> <p>S 「夕食前の午後7時がいいかな・・・。」</p> <p>T 「その方法で少しの期間試してみましょう。取り組んだ感想を次回の学習のときに教えてください。」</p>
終末	<p>6. 本時の学習を振り返り、自己評価をする。</p>	<p>・ 生徒と相談して決めた方法を保護者に伝え、協力を得られるようにする。</p> <p>・ 次回の学習で取り組んだ結果や感想を確認することを伝える。</p>

学習内容③「スケジュールを管理する学習」

▶指導に当たって

- ・友達との約束を忘れてしまいトラブルになることが度々あるため、操作に慣れているスマートフォンを使用し、スケジュールを管理する方法を身に付けさせる。学習した方法を習得させられるよう、スケジュールを管理するための手順を確認させる。

▶本時のねらい

- ・スケジュールを管理するための方法や手順を理解し、試行する。(心・環)

指導過程

段階	学習内容	指導上の留意点
導入	<p>1.前時までの復習や学校生活の振り返りをする。</p> <p>T「ファイルやスマートフォンのリマインダー機能を使ってプリントを管理してみましたか。」 S「やってみました。ファイルを確認する時間を忘れてしまうことが多いのですが、アラームで教えてくれるので、思い出して確認しています。忘れ物が前より減りました。」 T「使い方で困ったことはありませんでしたか。」 S「すぐに慣れました。でも…忘れ物は減ったのですが、先日、友達と一緒に買い物に行く約束をしたのに、時間を間違えて待たせてしまいました。友達は許してくれたのですが、あれから自分の中で気まづくなってしまって。」 T「そうでしたか。それでは今日はカレンダーアプリを使って予定を管理する方法を学習しましょう。」</p>	
展開	<p>2.本時の目標を確認する。</p> <p>3.カレンダーアプリを使ってスケジュールを管理する方法を体験する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> </div> <p>T「今日は無料のカレンダーアプリを使ってみましょう。カレンダーには日付だけではなく、時間や場所等の情報も入力でき、スケジュールを通知してくれる機能もあります。大事なことは赤で表示することもできます。」 S「赤で表示すると一目でわかりますね。」 T「予定は、1日、1週間、月ごとに見やすく変更することができますよ。」 S「私は1週間ごとのカレンダーが見やすいです。」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> </div> <p>4.スケジュールを管理するための手順を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>(1)予定を決めるとき</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 予定を決めるときは必ずカレンダーでスケジュールを確認する。 <input type="checkbox"/> 予定が決まったらすぐにカレンダーアプリに、日にち、時間、場所等を入力する。 <p>(2)毎日スケジュールを確認する習慣を身に付けるには</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 提出物ファイルを確認する時間にカレンダーアプリを見て、明日の予定を確認する。 <input type="checkbox"/> 通知機能を使って確認する。 </div> <p>T「カレンダーアプリの使い方を覚えるだけではなく、記録したスケジュールを確認する習慣を身に付けることが大切です。まずは1日1回決まった時間に確認することから始めましょう。通知機能を使って確認することができますよ。」 S「提出物のファイルを夜の7時に確認しているので、同じ時間にカレンダーも確認します。今度の休みに友達と約束をしているので、早速やってみます。」</p>	<p>・教師が手本を見せたり、写真を用いた手順表を用いたりして使い方を伝える。</p>
終末	<p>5.本時の学習を振り返り、自己評価をする。</p>	<p>・次回の学習で取り組んだ結果や感想を確認することを伝える。</p>